



石倉橋下の釣人 Fishing under the Ishikura bridge ...

© photo by Isao Yoshida

本年度の方針

第四十九代会長 安藤 泰雄



飯能ロータリークラブは昭和39年7月22日、東京オリンピック開催の年に創立され、以来48年の輝かしい歴史と伝統をもち、まもなく50周年を迎えようとしています。

このような年度に会長職を務めることは大変の引き締まる思いであると共に精一杯頑張らなくてはと緊張しております。どうぞ皆様宜しく御指導願いたく、お願い申し上げます。

さて、2012～13年度国際ロータリー会長田中作次氏はテーマとして「奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE」を掲げ、どんな些細なことでも人を助けることが平和につながると述べられています。

第2570地区ガバナー鈴木秀憲氏は最重点課題として「奉仕の追求」を位置づけられ、職業奉仕の大切さを語られています。

これらを踏まえて、私は飯能ロータリークラブ第49期の方針を「奉仕出来る喜び 輝こう永遠に」とテーマを定めました。

私は米山梅吉翁が述べられた「ロータリーは人生道場の場である。」という言葉が好きですし、とても含蓄のある事柄であると考えています。自己の職業を通じて社会に奉仕、貢献出来ることは喜びであり、学びであり、成長でありますし、人としての生きざまそのものです。私はもしロータリーに入会していなかったら、どういう歩みをしていたんだろうと時に考えることがあります。

自身の心の在り方、生き方としてロータリーの活動を「穏やかに 和やかに 爽やかに」展開していきたいと思えます。

そして、具体的活動としては次の5点を掲げます。

温故知新 (RCの過去を学び、未来を語ろう)

増強しよう (RCの魅力を広めよう)

例会を充実する (RCを楽しもう)

友情・結束 (50周年にむけて)

50周年記念委員会の活動

皆様一年間、何卒宜しくお願い致します。

